

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2016年5月17日

ENERGY STAR® テレビジョン受信機関係者各位

このレターをもって、米国環境保護庁(EPA)は、ENERGY STAR 適合のため、画像輝度調整機能を有するテレビジョン受信機に関する追加ガイダンスを提供する。

自動明るさ調節 (ABC)

自動明るさ調節 (ABC) は画面輝度を周囲光に合わせて調節し、省エネを促す特別な機能であり、ENERGY STAR テレビジョン適合基準にも取り入れている。ABC を有して出荷される TV は、原則としてこの機能を有効にして測定され、ENERGY STAR に適合することができ、ユーザはその後無効にしない限り有効である (試験方法セクション 5.5 を参照)。EPA の意図として ABC は確実に残っていても、ENERGY STAR は消費者が選択としてこの機能を無効にできる手段を持つ必要性も認めている。EPA が期待することは、消費者が自らの選択によるエネルギー量を認識することであり、ENERGY STAR テレビジョン適合基準セクション 3.2.4 では、もし消費者が画像設定を変更するオプションがある場合、製品がスクリーン表示で既定の画像設定なら ENERGY STAR 適合であると明確に知らせている。

応じて、ABC または匹敵する省エネ機能を有するテレビの適合では、製品が自動的に機能を無効にすることは、どのような状況でも許容していない。つまり、消費者の選択とテストモードや画像設定との違いは問題ではなく、消費者が積極的に無効にしようとしたり TV の確認メッセージがない限り、ABC はあくまでも有効である。この無効化制限は、それぞれの画像設定、例えばバックライト、明るさ、コントラストやディスプレイモード (標準、スポーツ、映画、ダイナミックなど) から他のモードに変えるときに、小さな変化を与える。

ABC を有するテレビの ENERGY STAR 基準への適合を変わずに確実にするために、ENERGY STAR の認証機関 (CB) は ABC が必ず有効で、画像設定を変えたときも (マスター設定でもサブセットレベルでも) 残っていることを確認されることになるだろう。これは、ホーム/初期モードからダイナミックモードへの変更の場合も含み、例えば、明るさ調整等も含む。

他の画面輝度調光機能

ENERGY STAR テレビ適合基準の最新の改定により、EPA は、新しい機能として一時的に画面輝度を低減し、シーンの頻繁な切り替わりや素早い動きに対応することを知った。この機能は「モーション ライティング」または「モーション アイケア」等の名称で知られ、多くの高度リフレッシュレートテレビによく使われる動きのぶれを低減したりフレーム間を補間する技術とは異なる。このタイプのエネルギー使用量への影響も良く理解されている。EPA は、セットアップメニューで無効にして ENERGY STAR 適合試験をするように要求されている。

質問は、Katharine Kaplan まで
Kaplan.Katharine@epa.gov.

Sincerely,
Ann Bailey, Chief
ENERGY STAR Labeling Branch
US Environmental Protection Agency